



わかさ

消防だより

編集・発行
若狭(組)消防本部
小浜市大手町7-8
TEL 53-0119(代)
<http://www.wakasa-fd.jp>

第70号

祝 若狭消防組合発足40周年 災害のない若狭地方をめざして!



松崎 管理



小浜消防団



消防音楽隊



上中消防団



おおい消防団



高浜消防団

1月5日から9日にかけて、管内4市町で消防出初式が挙行されました。
昨年は、全国各地で豪雨、竜巻など痛ましい災害が多発しました。
また、住宅火災により多くの尊い命が奪われました。
今年も、平穏無事な一年であることを祈願し、消防職・団員が
一斉放水、観閲式、分列行進、市中パレードを行いました。



平成23年5月31日までに「住宅用火災警報器」を設置しましょう。

東京消防庁から感謝状



平成21年11月28日、国富地区スポーツ少年団学童野球クラブ「天ヶ城チーム」の関係者として6年生の卒団旅行で、児童や保護者らと東京を訪れていた二人(写真)は、同日一行が港区のホテルに向かうため世界貿易センター付近でバス待ちをしていたところ、同センター前の階段を下りてきた男性(69歳)が突然、前のめりに倒れた。男性は自力で起き上がる様子がなく、池田消防司令補が声を掛けても反応がなかったため、周囲にいた人に119番通報とAED(自動体外式除細動器)を要請した。

男性の様態は次第に悪くなり、ついには呼吸を停止したため、池田消防司令補が心臓マッサージと人工呼吸を



施した。この行為を数回行っていると石橋教諭がJR浜松町駅から持ってきたAEDを作動。その後男性は自発呼吸を始め、駆け付けた救急隊員に引き継いだ。石橋教諭はAEDなどを使用する普通救命講習修了者であったため、「結果的に講習が生かされた」と話した。池田消防司令補は「救急車が到着するまでの処置が大変重要である」と実感した。

平成21年12月11日消防本部で伝達式が行われ、桑田消防長は「二人の素晴らしい行動で命が救われた」と称賛した。後日、池田消防司令補宛てに男性から礼状が届き、「改めて初期の救急処置の必要性を再認識した」と振り返った。



石橋秀樹教諭

池田 勉消防司令補

春の火災予防運動 3月20日~3月26日



宝くじ助成金で配備

軽可搬消防ポンプを更新配備

- おおい町【井上婦人消防隊】
- 若狭町【大鳥羽婦人消防隊】

このほど、(財)日本消防協会が行う「女性消防隊による安全で災害に強い地域づくり推進事業」の助成を受けて、それぞれ軽可搬消防ポンプを更新配備しました。

この事業は、同協会が宝くじの普及広報事業を財源としているものです。



平成23年5月31日までに『住宅用火災警報器』を設置しましょう。

原子力施設における消防モデル訓練実施

若狭消防組合と関西電力 70人手順確認!!

平成22年1月20日、高浜町の関西電力(株)高浜発電所において、大地震による火災を想定した合同訓練を初めて行った。

この訓練は、2007年新潟中越沖地震で柏崎刈羽原発の変圧器火災が起きたのを受け、総務省消防庁が昨年3月に消防訓練モデル計画をまとめた指針に基づいて実施。

想定は、若狭湾を震源とする震度5弱の地震が発生、4号機タービン建屋の屋外に設置してある主変圧器から出火。鎮火後、放射線管理区域内の3号機補助建屋からも出火。119番通報がつながりにくく、地震の影響で消防車の到着も遅れるという内容で実施。

火災現場では、自衛消防隊員らが防護服を着用し消火

作業を行ったほか、通報によって駆け付けた消防署員も指揮本部を設置し協力して消火に当たった。



第56回文化財防火デー

1月26日は昭和24年に奈良法隆寺金堂壁画が焼失した日にあたり「文化財防火デー」と定められました。この「文化財防火デー」は、火災、震災その他の災害から文化財を守るため、全国的に文化財防火運動を展開し、国民一人ひとりの文化財愛護思想の高揚を図ることにあります。



数多い貴重な文化財

がある若狭地方においても、火災等の災害から守るため積極的に広報活動を行うとともに、関係者多数が参加し、各地で下記のとおり火災防ぎょ訓練が行われました。



- 小浜市金屋/萬徳寺 ●若狭町瓜生/集会場
- 高浜町鎌倉/薬師堂 ●おおい町長井/龍虎寺

設置はお済みですか!? 住宅用火災警報器

設置期限
せまる!!

消防法の改正により、全ての住宅に火災警報器の設置が義務化されました。既存住宅の設置期限は、平成23年5月31日までです。

- 火災警報器は、消防用設備機器取扱店、ホームセンター、電気店などで販売されています。
- 設置も容易で一般的なタイプなら個人で取り付けできます。
- 消防署が販売することはありません。
- 密閉度の高い住宅などは、警報音が聞こえにくい場合がありますので、連動型のワイヤレス警報器をお勧めします。
- 訪問販売はクーリング・オフの対象となります。購入後も一定の期間内はキャンセルが認められます。
- 火災警報器を設置した場合は最寄りの消防署へ「住宅用火災警報器設置届」を提出してください。



詳細は、最寄りの消防署までお問い合わせください。消防本部予防課 53-5213



平成21年の火災・救急・救助統計

火災死傷者ゼロ

組合
発足来初

集団救急救助事故発生

活動計画
策定来初

平成21年11月に遠敷トンネル内でダンプとバスが衝突する交通事故が発生し、一度に34名もの負傷者が出たもので、若狭管内全救急車6台を含む消防車両14台が出勤した。



平成21年における出火件数は13件であり、前年の組合発足後最小であった11件より2件の微増となりました。

火災による死者はゼロとなり前年比1人の減少。負傷者もゼロで前年比3人の減少となりました。火災種別は、建物火災が8件で全体の62%を占め、車両火災3件、その他火災2件と続きました。7月には高浜町で住宅1棟・倉庫8棟を焼損する建物火災が発生しました。



救急出場件数は2,129件、搬送人員は2,110人であり、前年比で出場件数が74件、搬送人員が52人と減少しましたが、5年連続2,000件(人)超えとなりました。

救急種別では、急病が全体の65%で最も多く、次いで一般負傷、交通事故と上位を占めました。また、搬送人員の60%が65歳以上の高齢傷病者でした。



救助出場は21件で、活動件数は15件、要救助者は19人でした。前年比で出場件数が6件の減少、活動件数は3件の減少、要救助者は4人の減少でいずれも減少しました。

救助種別では、交通事故が13件で、62%を占めました。

()は前年比

	本 署	上中分署	名田庄分署	大飯分署	高浜分署	合 計
火 災	7 (+5)	2 (±0)	1 (±0)	2 (-1)	1 (-2)	13 (+2)
救 急	1,130 (-6)	284 (-22)	134 (-11)	204 (+8)	377 (-43)	2,129 (-74)
救 助	12 (±0)	3 (+1)	1 (±0)	2 (-5)	3 (-2)	21 (-6)



平成21年若狭消防組合における重大ニュース

- 11月17日、神宮寺地係「遠敷トンネル」内において集団救急救助事故発生（重症者1名・軽症者33名）
- 「新型インフルエンザ」流行に伴う若狭消防組合消防本部対策（警戒）本部設置、救急救命士を中心とした職員のワクチン接種と感染防止資器材の強化を図る。
- 12月、若狭消防組合若狭消防署職員による救急功労として、東京消防庁消防総監より功績が称される。
- 職員の安全管理を主眼として全消防隊員に対し「コート式防火衣」から最新型の「上下セパレート式」に変更。消防装備の充実強化を図る。
- 3月、高機能消防指令センターを運用・開始する。また10月消防本部の組織改編により「本部通信指令室」を「署情報指令課」とし、課長以下10名体制とする。
- 7月18日、高浜町塩土地区内において建物火災発生、住宅・倉庫等全焼6棟・部分焼3棟焼失する。
- 7月、「消防団協力事業所」について、管内3事業所に認定書を交付する。
- 2月、消防法の一部改正による「指揮隊」の整備を図るため、新たに指揮車を導入、職員の災害現場における安全管理を主とした警防体制の確立を図る。
- 21年度県下消防職員意見発表大会において、若狭消防署職員が最優秀賞に輝く。
- 2月、福井県国民保護訓練が小浜市・おおい町を中心として実施、若狭消防組合消防本部も訓練参加する。